



みんなが主役 豊岡小

大 楓



平成26年12月15日 No.15

銚子市立豊岡小学校 中西 健

つ な ぐ



「転んだら また 立ち上がればいい」
 昨年度の「大楓第14号」の見出しの言葉です。
 昨年度の市内駅伝大会は最下位という結果に終わりました。
 大会まで、一生懸命練習してきた子どもたちにとって、たいへんショックな結果でしたが、子どもたちは決してくさることなく、その悔しさをたくましく受け止め、立ち向かおうとしていました。リベンジに向けて、駅伝大会の翌朝からグラウンドを走り始めた子どもたち。
 あれから一年・・・
 今年の駅伝大会では、見事な走りを見せ、最下位脱出です。赤チームの10位という順位は、十分満足できる結果だと受け止めています。昨年の記録より2分も縮めたことから、子どもたちのすばらしい頑張りが伝わります。
 駅伝は、たすきをつないで走る競技です。そのたすきには、みんなの頑張りが、みんなの思いが詰まっています。頑張っている友だちの姿を見て、自分も頑張らなければと思い、その友だちのために力を尽くし、自分の思いを次につなぎます。
 大会では、出場した12名の子どもたち一人一人、限界に挑戦し、力を出し切って走りました。マネージャーや応援として、大会に参加した子どもたちも、選手が力を出し切れるように一生懸命支えました。まさに、豊岡の4・5・6年生が一つになり、心をつないだ姿がそこにありました。「みんなのために力を尽くす」、駅伝の練習で学んでほしいと思っていた、最も大切なことを子どもたちはしっかりと心に刻んでくれたと感じています。
 秋山教諭、宮本教諭を中心に、全校体制で取り組んできた駅伝部。一人一人をできる限り伸ばそうと指導してきましたが、子どもたちは私たちが思っていた以上の輝きを見せてくれました。駅伝部全員、本当に素晴らしかったと思います。その頑張りを御家庭でもしっかりとほめてあげてください。

本校の部活動では、体力の向上だけでなく、それ以上に、目標に向けて努力することで粘り強くたくましい心を育てることを大切に考えています。子どもたちがここまで頑張ることができたのも、御家庭での応援と励ましがあったからこそと思っています。本当にありがとうございました。保護者の皆様には、これまでの御理解と御協力に感謝申し上げますとともに、次年度の御支援についても、どうかよろしくお願いたします。